



朝夕の寒さが肌にしみる今日この頃です。

11月は『霜月』とも言われるように朝早くには霜が降り、布団から出たくなくなります。本格的に寒さが増してきましたが、皆様は風邪などひいたりしていませんか？寒さに負けてしまいがちな季節ですが、実は、空気も澄み頭もさえて新しいことにチャレンジするのに良い季節かも？また気分転換に、身近なところで紅葉も楽しめるのではないのでしょうか？



今回は新しく開設されたペインクリニックのイケメン先生にお話を伺いました。

## ペインクリニック(中河先生)を紹介します！

\*中河先生！こんにちは。今日はお忙しいところよろしくお願ひします。

先生の第一印象は、スマートでよく日焼けされた！ですが、何かスポーツはされていますか？



ゴルフをあまりスポーツとは思ってないのですが、日焼けはゴルフのせいです。7月に当院の禁煙外来を受診し禁煙に成功してから、59kg台だった体重が63kgまで増加しました。

\*先生から見た播磨病院の印象はいかがですか？

改築早々のこともあり、当たり前かも知れませんがきれいな建物だなと。

病棟の部屋も明るく、廊下も広くて機能的だと思います。

手術室が狭いのが、少し難点かなと思います。



\*では、本題に入ります。はじめにペインクリニックのスタッフ紹介と当院での役割をわかりやすく説明していただけますか？

一般的な腰痛、带状疱疹による痛みの他、三叉神経痛、終末期の癌による痛みなど 扱う痛みは幅広く、主に神経ブロックによる疼痛緩和を行うのが役割です。

スタッフは、小川さん、梅谷さん、井上さんです。スペースの関係上、診察室、中央処置室、X線 TV 室と 3 箇所を渡り歩いて診療を行っていますが、血圧低下や筋力低下の起こる特殊な処置を安全に行えるよう頑張ってくれています。

\*OP室での先生の役割も、わかりやすくお願いします。



全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔（腰椎麻酔、脊椎麻酔の正式名）により行われる侵襲（全身に対する影響）の大きな手術の麻酔管理です。



\*最後に日頃より心がけている事（目標など）お聞かせください。

痛みは非常に主観的かつ複雑で、客観的に評価することは困難です。

帯状疱疹後神経痛のように発疹が治癒した後に生じる痛みや、手術自体は成功しても痛みが残存する

脊椎術後痛症候群などの難治性の痛みは周囲の人々がその痛みを理解しにくいものです。

患者さんの痛みの訴えに真摯に向き合い、完全に除痛する事は困難でも出来るだけ和痛を目指し診療を行っています。

お忙しいところお話いただき、本当にありがとうございました。

今後もこれまで以上に播磨病院の各部門、先生を紹介をPRしたいと考えています。次回のT・TAK新聞はさて何を紹介するかはお楽しみにしてください。T・TAK新聞のバックナンバーは、「IHI 播磨病院ホームページ」

<http://www.harima-hp.jp> からご覧いただけます。

by : A. W & N. M